



産業廃棄物処理計画書

令和6年 7月 9日

豊 田 市 長 殿

提出者

住 所 名古屋市中村区名駅一丁目1番4号

氏 名 鉄建建設株式会社名古屋支店

執行役員支店長 本庄 五郎

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 052-581-9227

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名 称	鉄建建設株式会社名古屋支店 名鉄若林作業所
事業場の所在 地	愛知県豊田市若林東町石根 63-3 ローザンビル 2階A号室
計画期 間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種 類	06 総合建設業
②事業の規 模	元請完成工事高 ： 70,217万円
③従業員 数	99人

④産業廃棄物の一連の処理の工程	土木工事、建築工事 がれき類 → 中間処理業者に委託して再生砕石等の建設資材として再資源化 木 く ず → 中間処理業者に委託してチップ等として原料・材料として再資源化 建設汚泥 → 中間処理業者に委託して脱水乾燥後にリサイクル 混 合 物 → 中間処理業者に委託して再資源化後、残は最終処分
-----------------	--

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙(名古屋支店建設副産物管理組織表)の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度(5 年度)実績】【別添 計画書別紙1のとおり】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	1 5 0 2 5 t	t

		(これまでに実施した取組) ・現場での分別回収、分別排出 ・材料搬入業者への梱包材の簡素化要請 ・一般廃棄物の混入防止		
2	計画	【目標】【別添 計画書別紙2のとおり】		
		産業廃棄物の種類		
		排出 量	1 6 3 5 t	t
		(今後実施する予定の取組) ・上記と同様		
産業廃棄物の分別に関する事項				
	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック、金属くず、木くず、がれき類はそれぞれ分類して保管		
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記と同様		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
1	現状	【前年度 (5 年度) 実績】【別添 計画書別紙1のとおり】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
		(これまでに実施した取組) ・該当なし		
②計画		【目標】【別添 計画書別紙2のとおり】		
		産業廃棄物の種類		

		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
		(今後実施する予定の取組)		
		・該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
1 現状	【前年度（ 5 年度）実績】【別添 計画書別紙1のとおり】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t		t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t		t
	(これまでに実施した取組)			
・該当なし				
②計画	【目標】【別添 計画書別紙2のとおり】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t		t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t		t
	(今後実施する予定の取組)			
・該当なし				

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
1 現状	【前年度（ 5 年度）実績】【別添 計画書別紙1のとおり】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t		t

		(これまでに実施した取組)		
		・該当なし		
	②計画	【目標】【別添 計画書別紙2のとおり】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
		(今後実施する予定の取組)		
		・該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	1 現状	【前年度 (5 年度) 実績】【別添 計画書別紙1のとおり】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	1 5 0 2 5 t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	1 4 8 4 3 t	t
		再生利用業者への 処理委託量	1 5 0 2 5 t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	t
		(これまでに実施した取組)		
		・地域性もあるが、可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、 最終処分量の低減を図っている。		

(第5面)

②計画	【目標】 【別添 計画書別紙2のとおり】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	1 6 3 5 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1 4 0 0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1 6 3 5 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・地域性もあるが、可能な限り優良認定処理業者を選定する。 ・委託先の処理業者に対して実地確認を実施する。		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

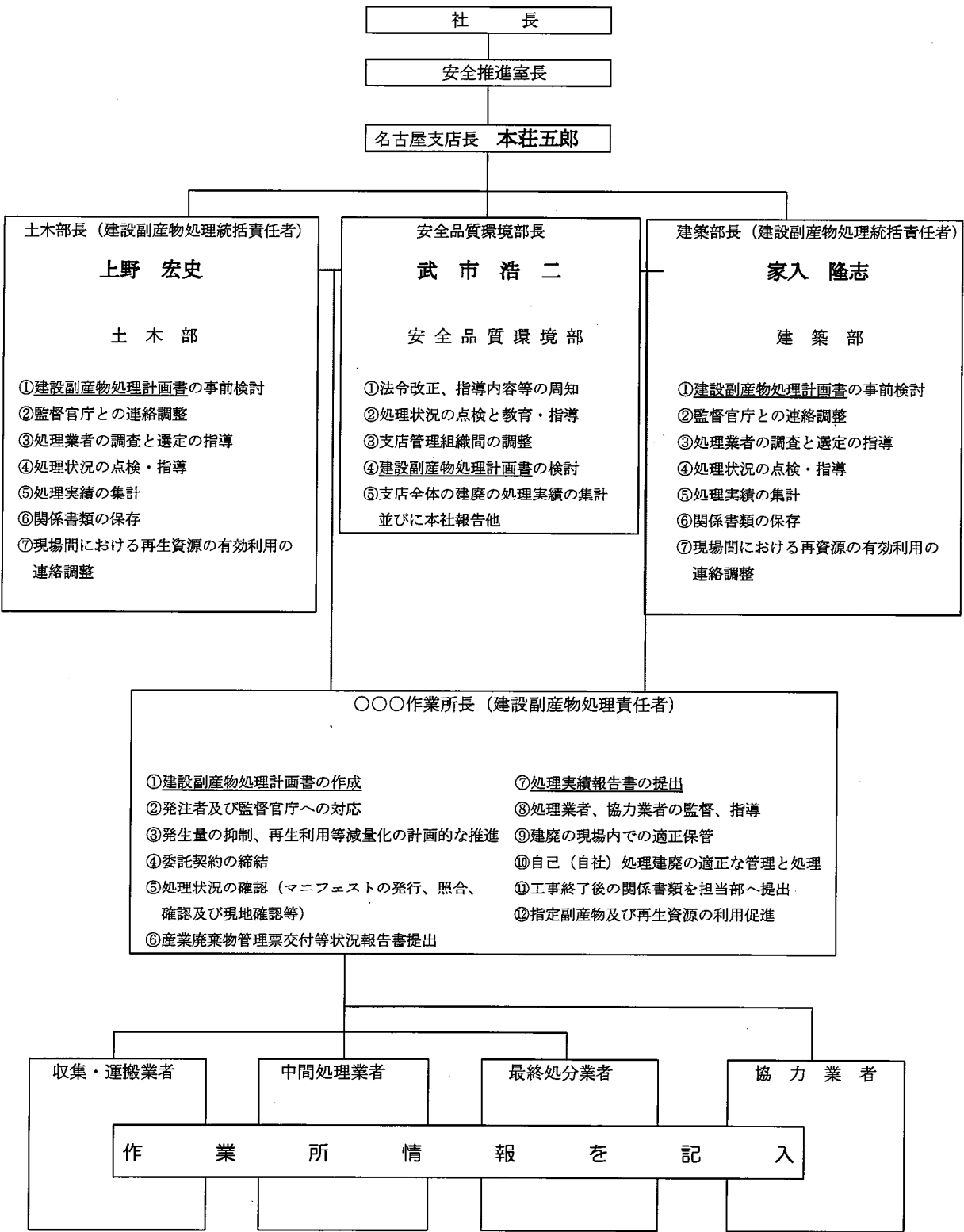
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

- 7 ※欄は記入しないこと。

名古屋支店建設副産物管理組織表

令和6年4月1日現在



注）再生資源利用については図中の下線を再生資源利用促進又は再生資源利用と読み替える。

[illegible]

【今年度（6年度）計画】

[illegible]

8139 58

産業廃棄物処理状況調査票

(No.)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	鉄建建設株式会社名古屋支店	従業員数(人)	99	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	安全品質環境部 村山 正志	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	70,217	建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	〒450-6036 名古屋市中村区名駅一丁目1番4号 581-9227	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)	—	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	がれき類	がれき類	がれき類	廃プラスチック	金属くず
		コンガラ	アスガラ	道床バラスト		
前年度計画の実施状況 () 年度実績	a 不要物等発生量(t/年)	7,848	52	544	6	11
	b 有償物量(t/年)					
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	7,848	52	544	6	11
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0	0	0		
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0	0	0		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)	0	0	0		
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後の残さ量(t/年)	0	0	0		
	⑨ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)	0	0	0		
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑩ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0	0	0		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑧-⑨)	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	7,848	52	544	6	11
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)	7,848	52	544	6	11
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	7,848	52	544	6	11
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E (選別)	A・B・C・D E (選別)
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0	0	0	0	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)	7,848	52	544	1	11
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0	0	0	5	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑨+h)	7,848	52	544	1	11
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)	0	0	0	0	0
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑩+e+i)	0	0	0	5	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・熔融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No.)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	鉄建建設株式会社名古屋支店	従業員数 (人)	99	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	安全品質環境部 村山 正志	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	70,217	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	〒450-6036 名古屋市中村区名駅一丁目1番4号 052-581-9227	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	—	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	汚泥	木くず	混合物		
		建設汚泥		混合 (管理型)		
前年度計画の実施状況 (1年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	6,383	15	16		
	b 有価物量 (t/年)	0	0			
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	6,383	15	16		
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0	0			
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0			
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0			
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0		
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0	0			
	⑧ 自ら中間処理した後の再生利用した量 (t/年)	0	0			
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後の自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0			
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0		
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	6,383	15	16		
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	6,383	15	16		
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	0			
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	6,383	15	16		
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E (選別)	A・B・C・D E (選別)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	5,106	0	0		
	h 委託中間処理した後の再生利用した量 (t/年)	1,085	15	11		
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E (埋立)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	192	0	5		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	1,085	15	11		
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	5,106	0	0		
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	192	0	5		

- (注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。
 2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)
 3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破砕・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)
 4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。
 5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。